

平成27年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【福島応援人形劇公演 Part3】

- 1) 日程 平成27年12月1日（火）～7日（月）
- 2) 場所 福島市の保育園や児童養護施設など11ヶ所にて人形劇公演を実施。
※12/5（土）は地域交流イベントを実施。
- 3) 参加劇団 人形劇団ブルスタ（1名）、人形劇団ぽっけ（1名）、人形劇団タックル（1名）、
チーム馬車馬（3名）、ラクダノセナカ（1名）、劇場スタッフ（1名）
- 4) 公演記録

ラクダノセナカ&ブルスタ

月/日（曜）	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
12/1（火）	10:00	まつかわ東幼稚園+ 下川崎小学校 福島市松川町沼袋字戸ノ内 832-2	人形劇「あかずきん」 パネルシアター 「はだかの王様」	29名 (子24、 大人5)
	13:55	水原小学校 福島市松川町水原字戸ノ内 31	人形劇「あかずきん」 パネルシアター 「はだかの王様」	24名 (子18、 大人6)

野良犬&ブルスタ

月/日（曜）	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
12/2（水）	15:00	おやま子どもクラブ 福島市 御山字沢田7-9	人形劇「千匹オオカミ」 パネルシアター 「はだかの王様」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 マジックショー	34名 (子32、 大人2)

チーム馬車馬

月/日（曜）	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
12/3（木）	15:00	杉妻保育所 福島市黒岩字田部屋 53-3	人形劇「三びきのくま」 人形劇「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 人形劇 「玉人形のエチュード」	73名 (子65、 大人8)
12/4（金）	10:00	佐倉小学校+佐倉幼稚園 福島市上名倉字大光内1	人形劇「三びきのくま」 人形劇「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 人形劇 「玉人形のエチュード」	107名 (子100、 大人7)
	15:00	福島隣保館保育所 福島市須川町 3-30	人形劇「三びきのくま」 人形劇「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 人形劇 「玉人形のエチュード」	135名 (子130、 大人5)

ブルスタ&ぽっけ&タックル

月/日(曜)	開演時間	会 場	公演プログラム	観客数
12/3(木)	15:00	余目保育所 福島市宮代字作田 66-2	ペープサート 「ねずみくんのチョッキ」 パネルシアター 「はだかの王様」 クイズ「とびらのむこうは なんでしょう？」 人形劇「だるまちゃんとなぐちゃん」	80名 (子70、 大人10)
12/4(金)	10:00	清水幼稚園+たんぽぽ保育園 福島市南沢又字柳清水 20-2	ペープサート 「ねずみくんのチョッキ」 パネルシアター 「はだかの王様」 クイズ「とびらのむこうは なんでしょう？」 人形劇「だるまちゃんとなぐちゃん」	80名 (子70、 大人10)
	15:00	福島保育所 福島市森合町 8-12	ペープサート 「ねずみくんのチョッキ」 パネルシアター 「はだかの王様」 クイズ「とびらのむこうは なんでしょう？」 人形劇「だるまちゃんとなぐちゃん」	130名 (子120、 大人10)
12/6(日)	10:30	福島愛育園 福島市田沢字躑躅森 16	ペープサート 「ねずみくんのチョッキ」 パネルシアター 「カレーライス」 クイズ「とびらのむこうは なんでしょう？」 人形劇「だるまちゃんとなぐちゃん」	42名 (子38、大人 4)

札幌市児童会館チームアイアイ

月/日(曜)	開演時間	会 場	公演プログラム	観客数
12/6(日)	10:30	飯野町団地まつぼっくり 集会所 福島市早稲町1番1号	人形劇「三びきのくま」 パネルシアター 「ねこのおいしゃさん」 大型絵本 「はらぺこあおむし」 原先生のお楽しみタイム (体操&クイズ)	40名 (子19、大 人21)

5) 写真で見る公演及び調査記録

ラクダノセナカ&ブルスタ

①まつかわ東幼稚園+下川崎小学校



- 幼稚園の園児と向かいにある小学校の生徒と合同での観劇となった。少人数での観劇で上演後ひとりひとりと交流することができた。
- ごっこあそびを積極的に行っている幼稚園で、元気いっぱいのこどもたちだったが、楽しい遊び場であるはずの裏山では、まだ遊べない状況であることがショックであった。

②水原小学校



- 全校生徒が18名の学校でアットホームな雰囲気の中で上演することができた。
- 小規模校を文化支援という形で回ることは少なく、水原小学校と交流をもてたことを嬉しく思う。今後は小規模校にも目を向けて上演活動を行っていきたいと思う。

野良犬&ブルスタ

①おやま子どもクラブ



- 公演の準備中に先生から、震災後の状況や子どもたちの変化など貴重なお話を伺うことができた。
- 公演終了後は子どもたちが人形やパネルシアターに触れて遊んだり、一緒におやつをごちそうになったりと、子どもたちとふれあうことができたのも良い時間であった。

チーム馬車馬

①杉妻保育所



- 公演会場は、とてもかわいらしいクリスマスの飾り付けがしており、先生たちの温かさが伝わる素敵な空間だった。
- お昼寝後の時間帯だったが、子どもたちは人形に声援を送ったり歓声をあげたりと、とても賑やかであった。

②佐倉小学校+佐倉幼稚園





- 佐倉小学校の低学年と、幼稚園の合同観劇会。はじめは、園児の元気さに小学生が押され気味であったが、「千匹おおかみ」などの人形劇が始まると大きな歓声を上げていた。
- マジック、パネルシアター、人形劇と盛りだくさんの内容であったが、最後まで集中して観劇してくれる子どもが多かった。

③福島隣保館保育所



- 準備の最中にそっとのぞきにきたり、これから何が起こるのか楽しみにしてくれているようだった。
- 100名以上の大勢の子どもたちが目を輝かせながら人形を見つめる様子がとても印象的深かった。

ブルスタ&ぼっけ&タックル

①余目保育所



- 今回初のメンバーでの最初の公演ということで、少し緊張していたが、こどもたちの声援のおかげで楽しく公演することができた。終演後、人形を持ってお見送りをした際もとても興味深々に近づいてきてくれた。

②清水幼稚園+たんぽぽ保育園



- 0歳児から観劇してくれ、みんな最後までしっかりと観てくれていた。
- こどもたちの元気な声と笑顔にこちらがパワーをもらった。パネルシアターやクイズも大盛況！

③福島保育所



- こどもたちが部屋いっぱいにお観てくれた。小さい子も最後まで観て、ハイタッチでお見送り！
- 保育所の先生が人形劇をやっていて、劇団の代表の方を紹介してくれた。福島でジョイント公演などで交流が出来たら嬉しく思う。

④福島愛育園



➤人数は多くなかったが、とてもアットホームな雰囲気伊藤先生のヨガ教室なども高学年も楽しんでくれていたのが印象的。

札幌市児童会館チームアイアイ

①飯野町団地まつぼっくり集会所



➤子どもの隠れ家のようなスペースや高齢の方が集えるスペースも備わった素晴らしい設計であった。保護者の皆様の努力で、施設が有効に使われていることが、手づくりの装飾などから伝わった。
➤いっしょに歌をうたったり、おどったりとこどもたちも楽しんでいた様子である。

【地域交流事業②】

地域交流イベント『あそびの劇場』

～札幌のやまびこ座・こぐま座からあそびのキャラバン隊がやってくる～ in 福島市

- 1) 日程 平成27年12月5日(土) 13:00～16:30
- 2) 場所 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ(福島市早稲町1番1号)
- 3) 参加劇団 人形劇団ブルスタ(1名)、人形劇団ぽっけ(1名)、人形劇団タックル(1名)、あしり座(1名)、チーム馬車馬(2名)、劇場スタッフ(2名)、札幌市児童会館スタッフ(3名)、福島現地スタッフ(3名/学生ボランティア7名)
- 4) イベント参加者数 延べ601名

時間	プログラム内容	備考	参加者数
13:00 ～ 16:30	遊びのコーナー	工作会、昔あそび、木のおもちゃ、折り紙、お絵かき、読み語り	232名 (子135、 大人97)
13:20	ミニステージ① 「ぽっけ&タックル」	人形劇 「だるまちゃんとてんぐちゃん」 クイズ「とびらのむこうはなんでしよう？」	128名
14:50	ミニステージ② 「チーム馬車馬&ブルスタ」	人形劇「三びきのくま」 パネルシアター「はだかの王様」	131名
16:00	ミニステージ③ 「やぶきさんおひとりさま 30分」	背負子人形劇 「千匹オオカミ」 マジックショー 原先生のお楽しみタイム	87名
15:30	親子で体験ヨガ教室	伊藤せんせいのかんたんヨガ教室	23名 (子7、 大人5)

5) 写真で見る公演及び調査記録





- 計601名の方が「あそびの劇場」に参加し、スペースが限られた中でも楽しんでくれていた。工作・昔あそび・読み聞かせ・人形劇公演・ヨガ体験など盛りだくさんの内容で、13時から16時30分の時間では少し物足りない気もした。
- 11月に引き続き、児童会館の職員がイベントスタッフとして参加してくれ、事前に工作の準備をしてくれたり、当日の運営や公演をしてくれるなど大活躍であった。また、福島大学の学生や川俣高校の学生が当日スタッフとして手伝いに来てくれ、こどもたちと一緒に折り紙であそんだり、読み聞かせを行った。
- 子どもたちの文化体験・世代間交流などを目的とし、11月より実施してきた地域交流イベント「あそびの劇場」。あそびに来るこどもたちとの近い距離での交流はもちろん、こどもとその親との交流であったり、地元の学生とこどもたちとの交流もできとても有意義なイベントであったと感じる。このイベントをきっかけに、福島のこどもたちが少しでも人形劇などに興味を持つ機会になると嬉しい。